

安全にご使用いただくために、
使用前に必ずお読みください。

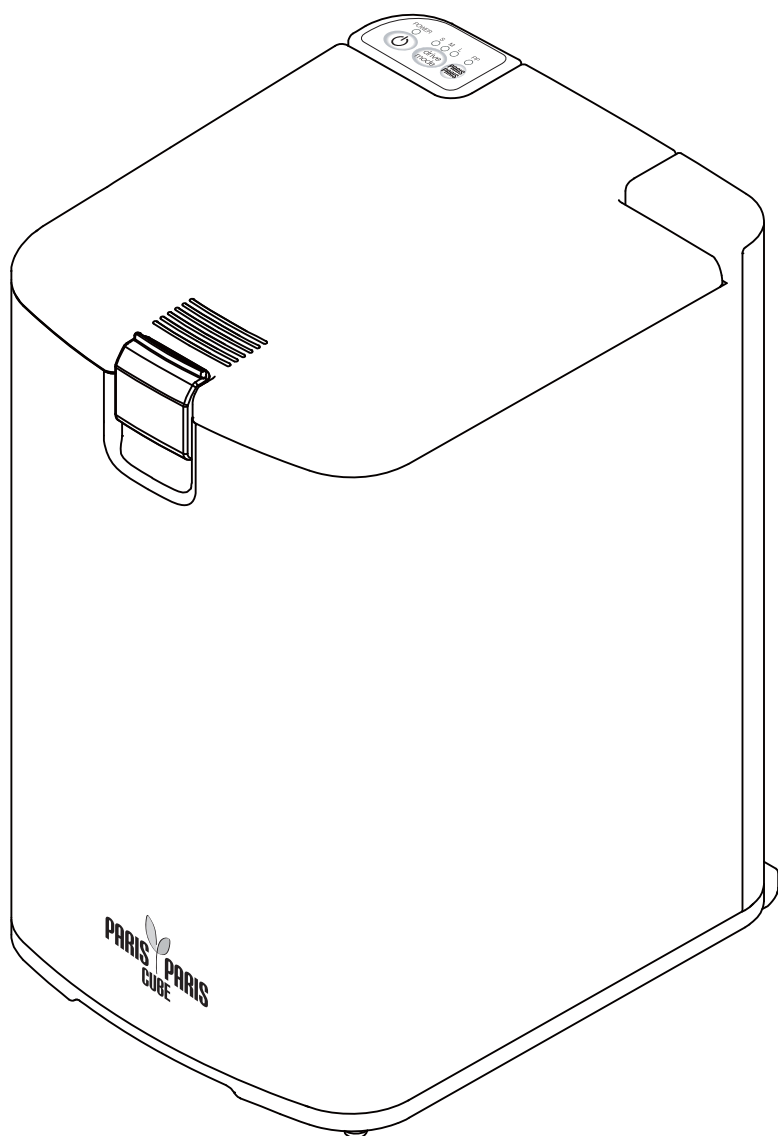
取扱説明書

温風乾燥型 家庭用生ごみ処理機

パリ パリ キューブ
PARIS PARIS CUBE

PPC-01

※装着されている脱臭フィルターは未開封
です。使用前には必ず両側のシールを
はがしてください。



ページ もくじ

- | | |
|-----|----------------------|
| 2 | 梱包内容・各部名称 |
| 3・4 | 安全上のご注意 |
| 5 | 本体の設置場所の選定と確認 |
| 6・7 | 脱臭フィルターの装着と交換 |
| 8・9 | 試運転の方法 |
| 10 | 安全・上手に
お使いいただくために |
| 11 | 生ごみの入れ方 |
| 12 | 生ごみの移し方 |
| 13 | 生ごみの処理 |
| 14 | 処理したごみの取り出し |
| 15 | 上手な捨て方 |
| 16 | お手入れ |
| 17 | 故障かな？と思ったら |
| 18 | アフターサービスと
保証について |
| 19 | 仕様と
お客様ご相談窓口について |

裏表紙 無料修理規定・保証書

保証書付

ご使用前に、取扱説明書を必ずお読みください。
本書をお読みになったうえで、正しく安全にご使用ください。
本書に付属の保証書（裏表紙）に「お買上げ日・販売店名」の記入を確かめ、
大切に保管してください。

梱包内容・各部名称

この度は本製品をお買上げいただきありがとうございます。
最初に製品の内容をよくご確認ください。

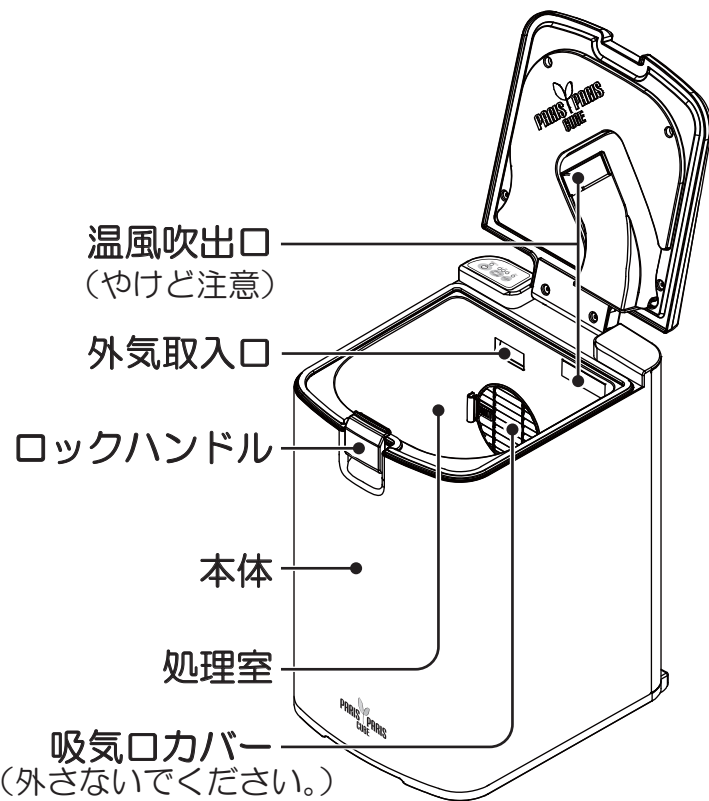
梱包内容一覧

- 本体 1台
- 付属品（消耗品）
 - バスケット 2個
 - 受け皿 1個
 - 脱臭フィルター（装着済）※1 1個
 - 脱臭フィルター（予備）※1※2 1個
 - バスケット用水切りネット 15袋

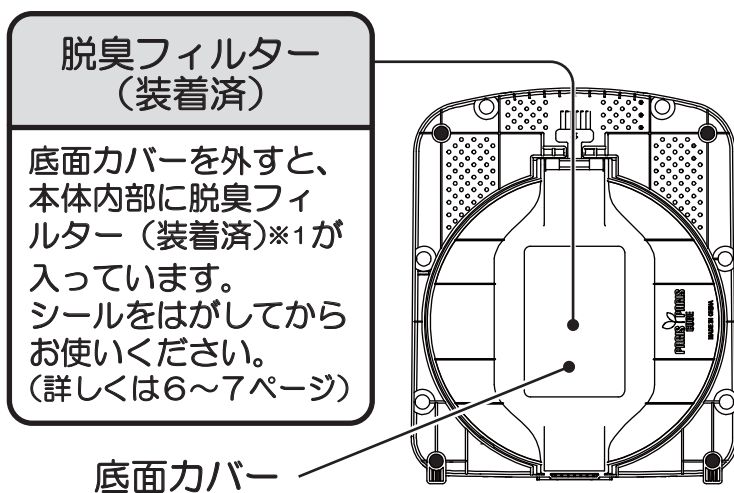
以下の部品は処理室内に入っています。



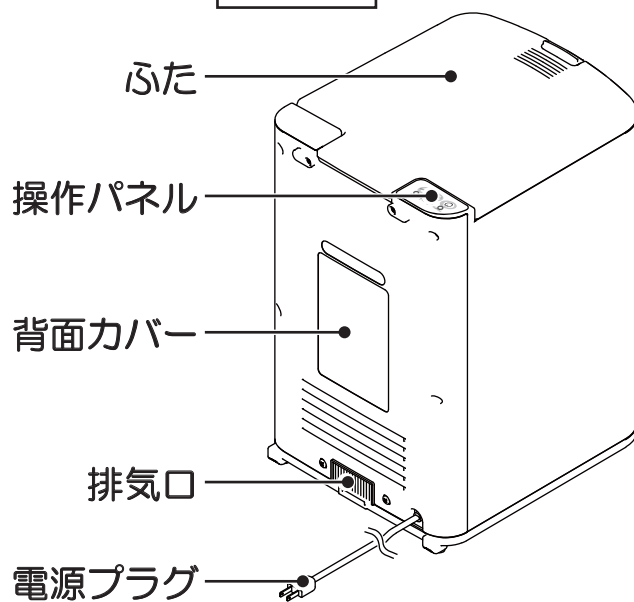
正面



底面



背面



※1. 脱臭フィルターは劣化防止のために、両側にシールを貼っています。ご使用前（交換用は交換時）に必ずはがしてください。

※2. 脱臭フィルター（予備）は本体から取り出し、交換時期が来るまで、劣化防止のシールを貼ったまま、大切に冷暗所で保管してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

安全上の表示について

本書では、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

死亡や重傷を負うことが想定される内容です。



注意

傷害を負うか、物的な損害の発生が想定される内容です。

本書では、お守りいただく内容について、次の表示をしています。(下記は一例です。)



してはいけない内容です。



しなければならない内容です。

警告



石油・アルコール・火薬・粉体類などは入れない。また、製品の近くに置かない。

●引火・爆発の原因になります。



使用中・使用直後は処理室内を触らない。

●使用中・使用直後は、処理室内が熱くなっているため、やけどの原因になります。



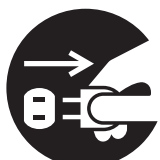
ぬれた手で電源プラグの抜き差し、スイッチ操作をしない。

●感電・ショート・火災・けが・故障等の原因になります。



電源コードを傷つけない。傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使わない。

●感電・ショート・火災・けが・故障等の原因になります。
●電源コード、電源プラグの修理は販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

●感電や、けがの原因になります。



本体に乗らない。

●製品を破損したり、転倒してけが、ペラダでは転落の原因になります。



電源プラグにほこりが付着している場合、よく拭いてから使用する。

●感電や、火災の原因になります。



本体に直接水をかけない。

●感電・ショート・故障等の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

警告



絶対に分解したり、改造や修理をしない。

- 感電・火災・けが・故障等の原因になります。
- 点検・修理は、販売店、またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超えるような使い方や、交流100V以外での使用はしない。

- 電圧を間違えたり、たこ足配線等で定格を超えると、発熱により発火する恐れがあります。

注意



脱臭フィルターの中身（活性炭）は食べない。

- 活性炭を食べると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。



持ち運びには十分注意する。

- 持ち運び時には、製品底面をしっかりと持ち、落下のないようご注意ください。けが、破損につながる恐れがあります。



ファンに指を近づけない。

- ファンに指を近づけると、けがや破損につながる恐れがあります。



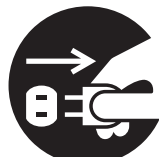
電源プラグを抜くときは、コードを引かずに、必ず電源プラグ部分を持って抜く。

- コードを破損・感電・火災・故障等の原因になります。



ふたは勢いよく閉めない。

- 指を挟んでけがをする場合があります。
- 製品が破損する恐れがあります。



長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

- 絶縁劣化による感電・火災の原因になります。



粉じんの吸入に注意する。

- 脱臭フィルターを交換する際に、粉じんが出る場合があります。
- フィルターに顔を近づけすぎると、粉じんを吸入する可能性があります。
- 粉じんを吸入すると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。



ふたを開けたままにしない。

- ふたを開けたまま放置しておくと、異物の侵入や故障等の原因となります。

本体の設置場所の選定と確認

下記条件にて設置場所を選定してください。

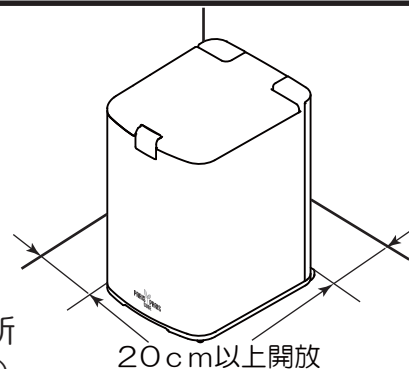
本製品は屋内専用です。必ず屋内に設置してください。

1 設置場所の選定



下記のような場所に設置してください。

- 直射日光の当たらない屋内
- 水平で転倒の恐れのない場所
- 床面の強度のある場所
- 本体の落下の恐れのない場所
- 風通しがよく、ほこりのたまらない場所
- 壁などから20cm以上の間隔を確保できる場所
(本体背面から湿気の多い温かい排気が出ます。)
- 消防隊進入の障害にならない場所



20cm以上開放

※背面は壁が無いところを推奨
※前面とどちらかの側面は開放



下記のような場所には設置しないでください。

- 屋外(軒下、カーポートなど)
- 湿気やほこりのたまりやすい場所
- 湿気を吸いやすい、畳やじゅうたんなどの上
- ストーブなど暖房器具の近く
- アルコール・石油類やプロパンガスなど、引火しやすいものの近く

2 使用前・使用時にご確認ください



下記のような行為はしないでください。

- 本体に袋やカバーをかぶせないでください。
- 温風吹出口・外気取入口・排気口・製品底面の穴をふさがないでください。
- 脱臭フィルターのシールは必ずはがしてください。

本体設置後、使用前にご確認ください。

- 上記項目をご確認いただき、適した場所に設置してください。
- 脱臭フィルターの装着、試運転をおこなってください。(6～9ページへ)

使用時に、壁紙・床が結露していないかご確認ください。

- 気温が低くなると本体背面から排気により、冷えた壁紙・床などで結露を起こします。結露が起こる場合は、暖かい部屋で使用したり、本体背面の方向を壁に向けたりしないようにしてください。

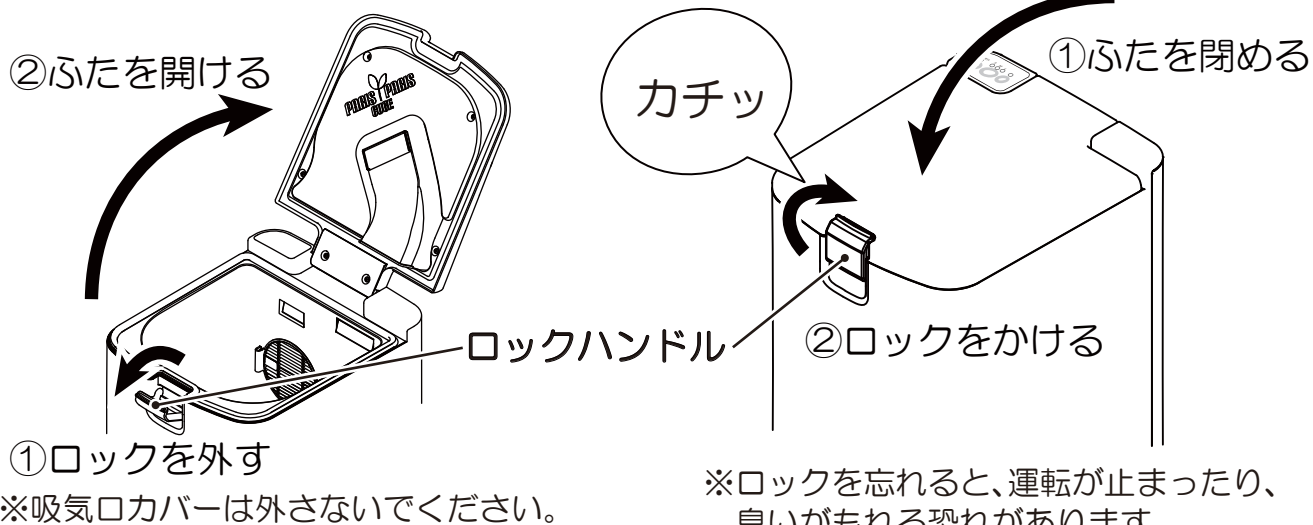
脱臭フィルターの装着と交換

脱臭フィルターは劣化防止のために、両側にシールを貼っています。必ず脱臭フィルターのシールをはがしてから本体へ装着してください。シールをはがさず運転を行うと、処理室内に水がたまり、製品の故障等の原因になります。

① ふたを開け、処理室内の部品をすべて取り出す

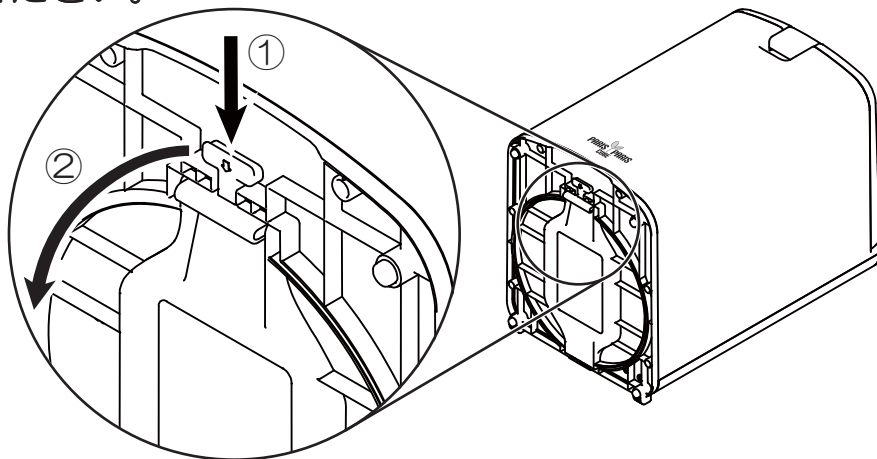
1. ロックハンドルを矢印の方向に引き、ふたのロックを外します。
ふたを持ち上げて、処理室内の部品をすべて取り出してください。

2. 部品を取り出したら、ふたをゆっくりと閉め、ロックハンドルを持ち上げて、ふたが開かないようにロックします。



② 底面カバーを取り外す

電源プラグを抜き、本体を背面側に寝かせて、底面カバーを取り外してください。①の部分を実印のほうに押しながら、②の矢印の方向に引いて取り外してください。



※ロックを忘れると、本体を寝かせる際にふたが勢いよく開き、けがや破損につながる恐れがあります。

脱臭フィルター

ふたがあるほうが
底面側になります。

上 面



底 面

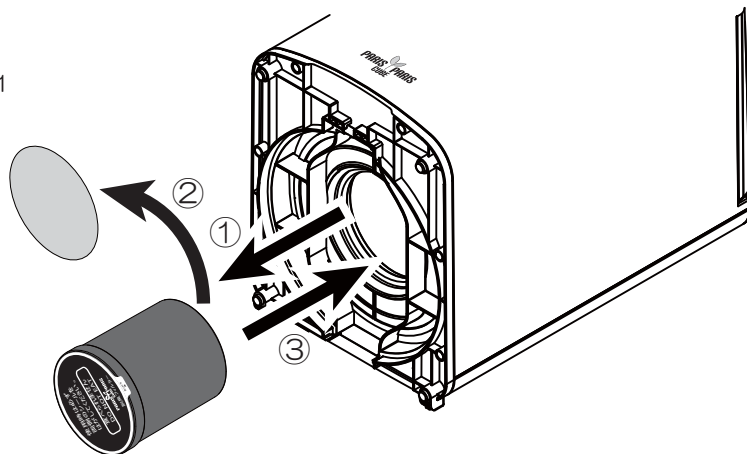
③ 脱臭フィルターを装着する

本体底面から脱臭フィルターを取り出します。
上面側のみシールをはがし、装着してください。

①脱臭フィルターを取り出します。
脱臭フィルターを振らないでください。※1

②脱臭フィルターの上面側のみシールを
はがし、底面側のシールはこの時点で
は、まだはがさないでください。※2

③上面側のシールをはがした事を確認し、
脱臭フィルターを上面側から本体に取り
付けてください。※3



※処理物、気候等の状況により、脱臭フィルターの寿命、能力が低下する場合があります。

※1. 脱臭フィルターを振ると、粉じんが出る恐れがあります。

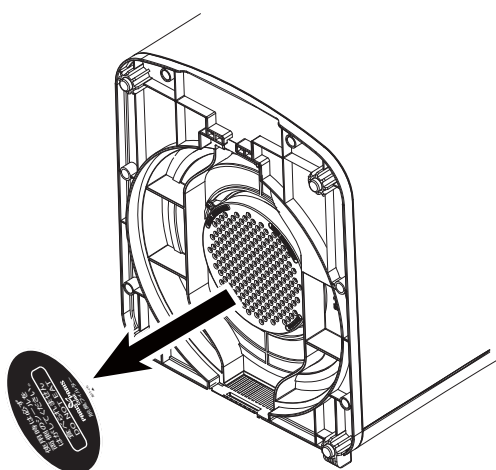
※2. 脱臭フィルター装着前に底面側のシールをはがすと、粉じんが出る恐れがあります。

※3. 万が一脱臭フィルターの通気孔に異常がある場合は、ご使用にならないでください。

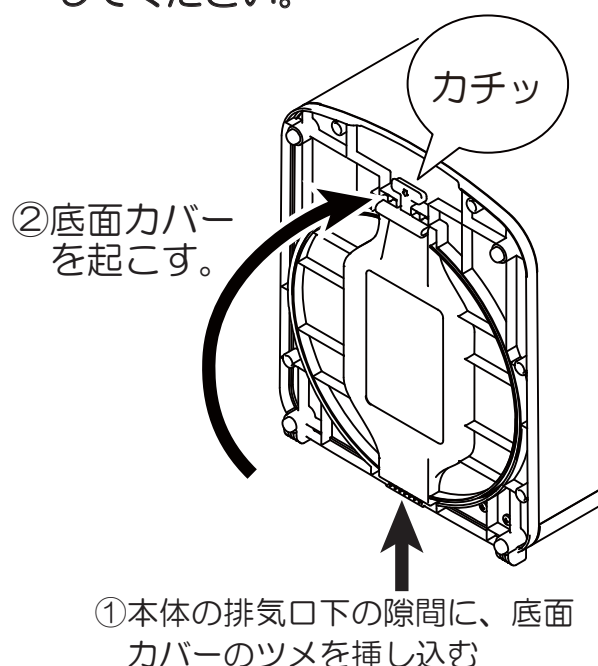
④ 底面側のシールをはがし、底面カバーを取り付ける

1. 脱臭フィルターを本体に装着後、
底面側のシールをはがしてくだ
さい。

2. 脱臭フィルターを装着後、底面
カバーを取り付け、本体を起こ
してください。



※底面カバーを装着前には、脱臭フィルターの
両側のシールをはがしたことを必ずご確
認ください。



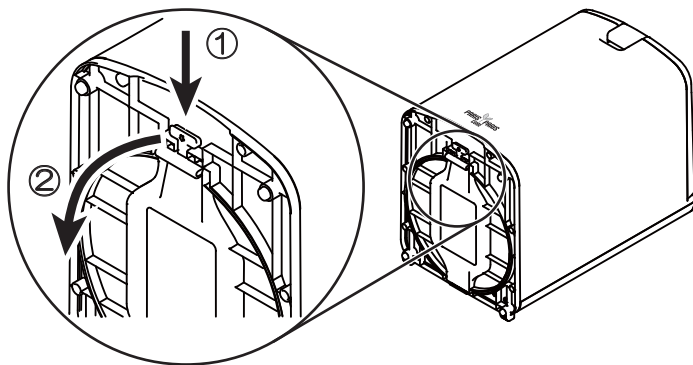
試運転の方法

製品の動作確認を行うために、試運転を行います。

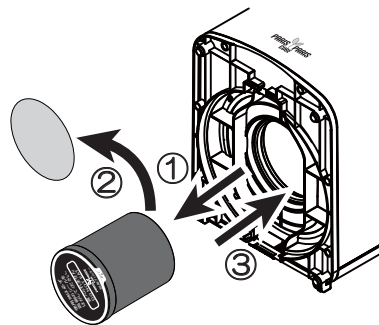
～試運転前に脱臭フィルターの装着を確認～

脱臭フィルターを正しく装着し、試運転を行ってください。
詳しくは、本書「脱臭フィルターの装着と交換」(6・7ページ)へ

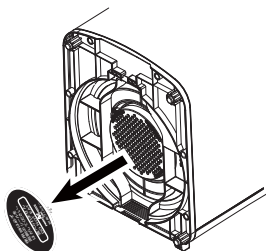
1. 底面カバーを外す



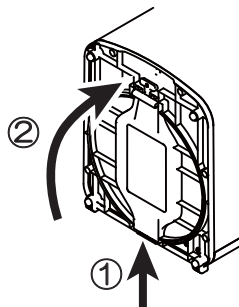
2. 脱臭フィルターの上面側のシールをはがす



3. 脱臭フィルターを装着し、
底面側のシールをはがす

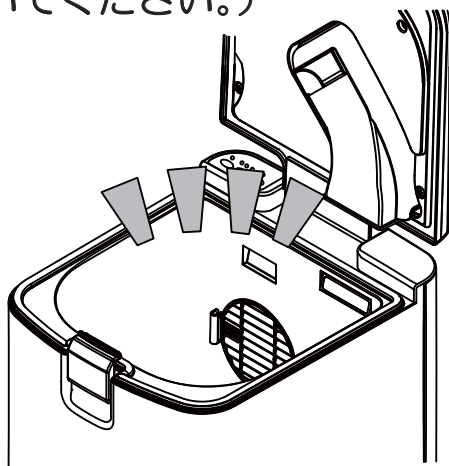


4. 底面カバーを取り付ける



① 処理室内の付属品を取り出す

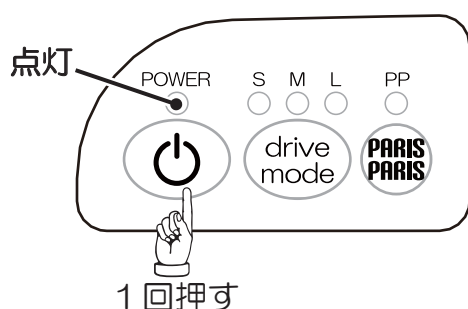
処理室内を、何も入っていない状態にしてください。
試運転時は、バスケット、受け皿は取り出してください。
(吸気口カバーは外さないでください。)



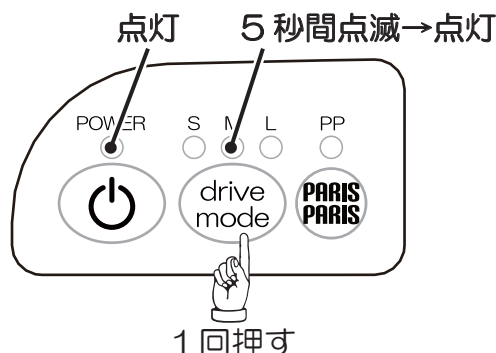
② 電源を入れ、運転する

電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。
そして、操作パネル上の $\odot$ （電源）ボタンで電源を入れ、drive/mode（運転 / 選択）ボタンを1度押します。

1. $\odot$ （電源）ボタンを1回押します。
電源がONになり、POWERの表示ランプが赤く点灯します。



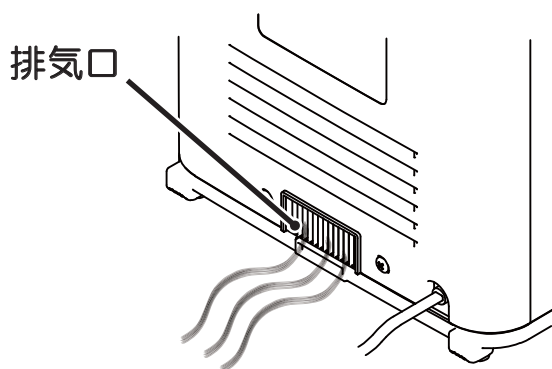
2. drive/mode（運転 / 選択）ボタンを1度押すと、M（標準モード）の表示ランプが5秒間点滅した後、点灯に変わり運転が開始されます。



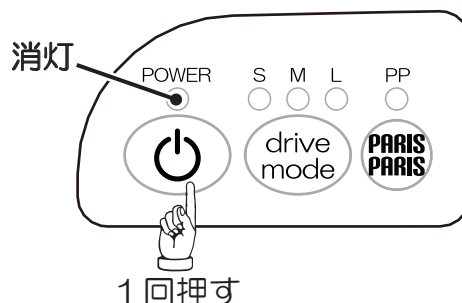
③ 排気口より温風を確認し、電源を切る

運転開始後、本体背面にある排気口から風が出ていることを確認します。さらに30分後、風が温かくなっていることを確認し、本体の電源を切り終了です。

1. 運転開始後、本体背面の排気口から風が出ていることを確認します。さらに30分後、風が温かくなっていることを確認します。
2. 排気口の温かくなっている風を確認後、 $\odot$ （電源）ボタンを押し、本体の電源を切り、試運転終了となります。



※脱臭フィルターの主成分である活性炭（添着炭）の小さな黒い粒が排気口から排出されることがありますが、異常ではありません。



※異常がなければ $\odot$ （電源）ボタンを1度押し、POWERの表示ランプが消えたことを確認後、10～16ページをご確認のうえ、ご使用ください。

安全・上手にお使いいただくために

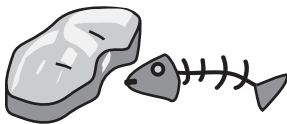
本製品は家庭用です。業務用や処理以外の目的には使用しないでください。

○ 処理できるもの

処理できるものは家庭で発生する生ごみだけです。



ご飯・麺類



肉類・魚類



野菜くず・果物くず
(一般的に人が食べられる食材)

× 入れてはいけないもの



警告

絶対に入れるな！
火災や、重大事故の恐れあり

発火・爆発の恐れがあるもの

イラスト：経済産業省3R政策イラスト集



石油類



火薬・薬品類



アルコール類



粉体類



マッチ・ライター

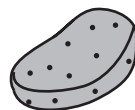
△ 乾燥効率が悪いもの



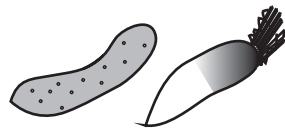
お菓子、果物など
糖분을多く含むもの



カレーなど
ペースト状のもの



コロッケなど油分を
多く含むものや、
衣で包まれているもの



そのままの野菜など、
大きなもの

注意：イカ・エビなど魚介類や、腐った生ごみは脱臭フィルターの寿命を短くし、臭いが出る場合があります。

◎エラーについて

製品ご使用時に「ピーッピーッ」という警告音が鳴り、各表示ランプが点滅している場合エラー表示となります。プラグをコンセントから抜き、「故障かな?と思ったら」(17ページ)を参考にご確認していただき、症状が改善されない場合、お買上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

◎長期間ご使用にならない場合について

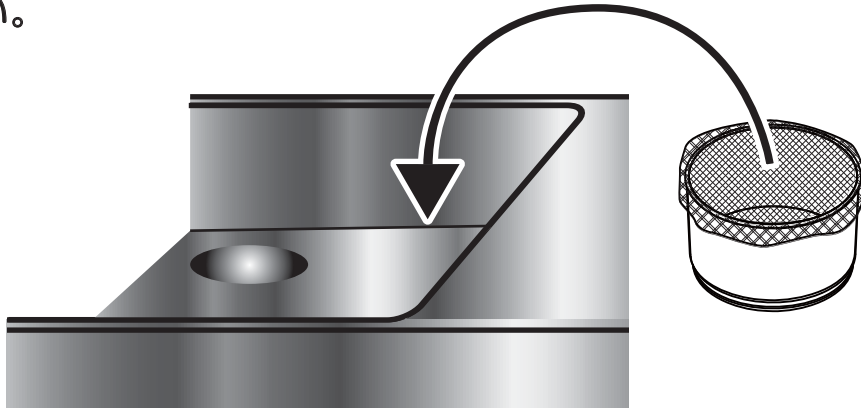
ご使用になっていない場合も、ふたを開けたままにしないでください。長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障の原因となる恐れがあります。

生ごみの入れ方

シンクに水切りネットをかぶせたバスケットを置き、生ごみを入れます。

① シンクにバスケットを置く

バスケットは水切りネットをかぶせてシンクに置き、三角コーナーのかわりにご使用ください。



推奨：バスケットに取り付ける水切りネットは、付属品のような網状の水切りネットをご使用ください。（不織布は使用できません。）

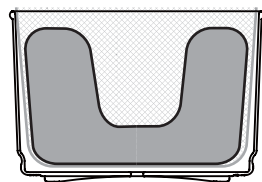
※付属品のバスケット用水切りネットのサイズと素材
サイズ：横 28 cm × 縦 25 cm、PE（ポリエチレン）素材

注意 1：水切りネットを使用しなくても乾燥処理はできますが、掃除やごみの取り出しが、簡単に行えない場合があります。

注意 2：受け皿はシンクに置くときは使用せず、バスケットを本体に移す時に使用します。

～乾燥効率を上げる上手な使い方～

- 適当な大きさに切ることで乾燥時間が短縮されます。（3 cm 以下）
- カレーなどのペースト状のものはバスケットに入れた後、予め水で洗い流すことで、バスケット内の空気が通り易くなり乾燥の効率が上がります。
- バスケットにたまった生ごみの中心をへこませることにより、バスケット内の空気が通り易くなり乾燥の効率が上がります。（下図参照）



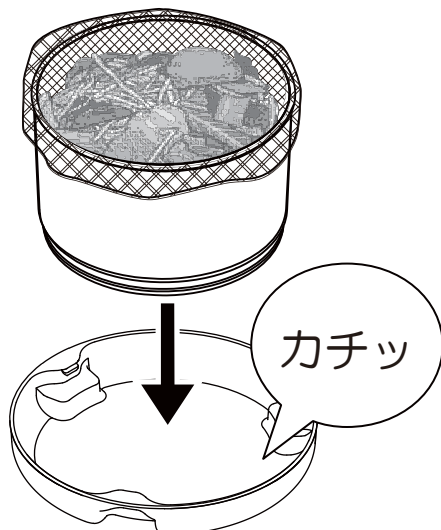
いつもよりパリパリに！
PARIS PARIS ガイドにも
色んなアイデアがあります。

生ごみの移し方

たまった生ごみを本体に移します。

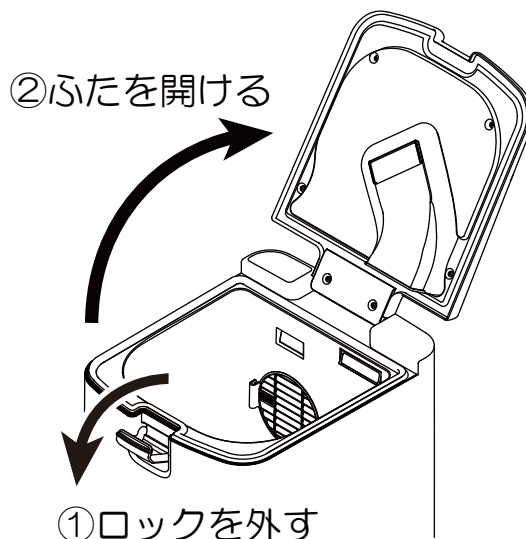
② バスケットの水をきり、受け皿を取り付ける

1. バスケットに受け皿を取り付ける。



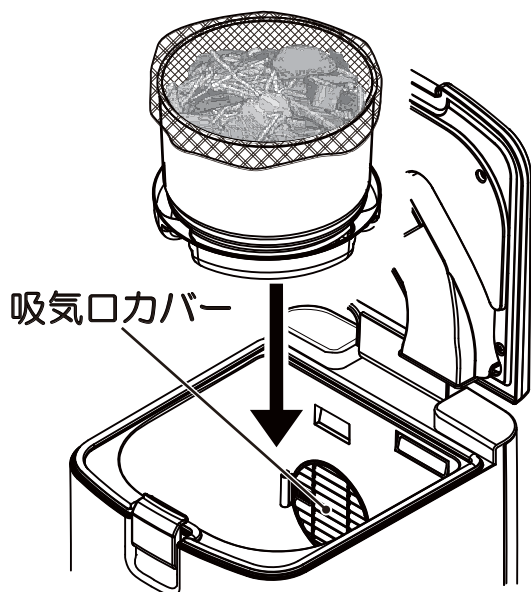
※バスケットを本体にセットした後は、付属のもう1つのバスケットをシンクに置いてお使いください。

2. ロックハンドルを矢印の方向に引き、ふたのロックを外します。ふたを開けます。



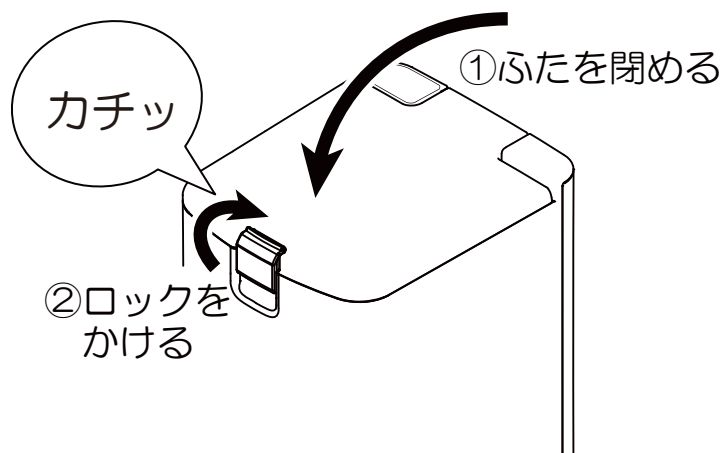
③ バスケットを本体にセットする

1. バスケットを本体中央付近に傾かないようにセットします。



※吸気口カバーに水が入らないようにしてください。故障等の原因となります。

2. ふたをゆっくりと閉め、ロックハンドルを持ち上げて、ふたが開かないようにロックします。



※ロックを忘れると、運転が止まったり、臭いがもれる恐れがあります。

生ごみの処理

電源を入れ生ごみを処理します。

④ 電源を入れる

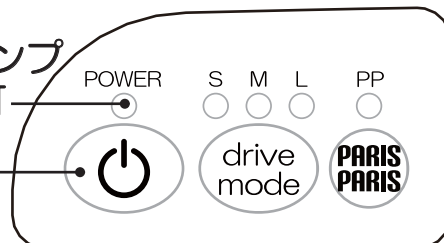
電源を入れるため操作パネル（右図）上の①の⏻（電源）ボタンを押します。

⚠ 運転中のご注意

運転中はふたを開けないでください。また、運転中にふたを開けると運転が停止します。ふたを閉じると運転を再開します。（内部が熱くなっており、やけどの恐れがあります。）

電源ランプ
点灯

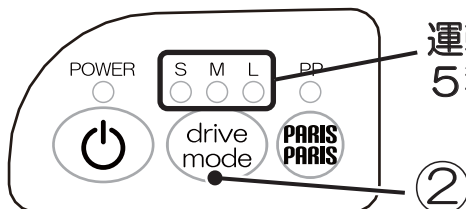
①



※電源が入りますと POWER（電源）ランプが点灯します。

⑤ 処理量に合わせて運転モードを選択する

電源を入れ終わったら、バスケットの処理量に対して、運転モードの目安（下図表）を参考に、操作パネル（下図）上の②の drive/mode（運転 / 選択）ボタンで運転モードを選択してください。1 回押すごとに M、L、S の順に運転モード表示ランプが切り替わり、運転モードも切り替わります。選択された運転モードの運転モード表示ランプが 5 秒間点滅した後、点灯に変わり運転を開始します。



運転モード表示ランプ
5 秒間点滅→点灯

②

～運転モードの目安～

汚れや故障等の原因となりますので、バスケットの高さ以上の容量、1 kg 以上の質量の生ごみを入れないでください。

L モード（8 割以上の容量）

M モード（5 ～ 8 割の容量）

S モード（5 割以下の容量）

バスケット容量	運転モード	表示ランプ	運転時間
5割以下	S	S点灯	6時間
5割から8割まで	M	M点灯	9時間
8割以上	L	L点灯	12時間

※運転モード変更は運転モード表示ランプが点滅中のみ可能です。運転開始後は変更できませんので、一度①の⏻（電源）ボタンを押し電源を切った後、操作をやり直してください。
※標準試験生ごみを使用した場合での運転モードの目安になります。

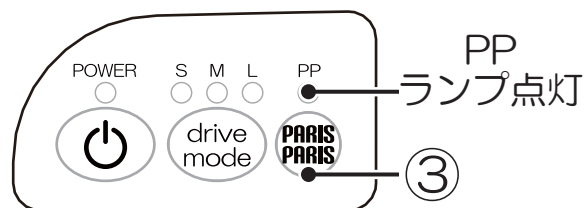
処理したごみの取り出し

運転終了後、乾燥させたごみを取り出し、捨てます。

⑥ 乾きにくいとき、いつもより乾燥させたいとき

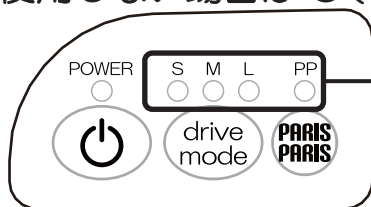
乾きにくいものや、いつもより乾燥させたい場合は、運転モード選択後に、③の PARIS PARIS ボタンを押すことでパリパリ運転モードとなり、各モードに応じた運転表示ランプに加え、PPランプが点灯し追加時間運転を行います。
また、運転モードを選択せずに直接③の PARIS PARIS ボタンのみを押す事でより運転時間が長いパリパリPPモード（18時間運転）の選択が可能です。

選択モード	表示ランプ	運転時間
パリパリSモード	S、PP点灯	10時間
パリパリMモード	M、PP点灯	13時間
パリパリLモード	L、PP点灯	16時間
パリパリPPモード	PP点灯	18時間



⑦ 運転終了の確認をする

選択された運転モードの運転は自動的に運転が終了します。運転終了後は、運転モード表示ランプが消灯します。POWER(電源)ランプは点灯したままになりますので、長時間使用しない場合は 〇(電源) を押し、電源をお切りください。



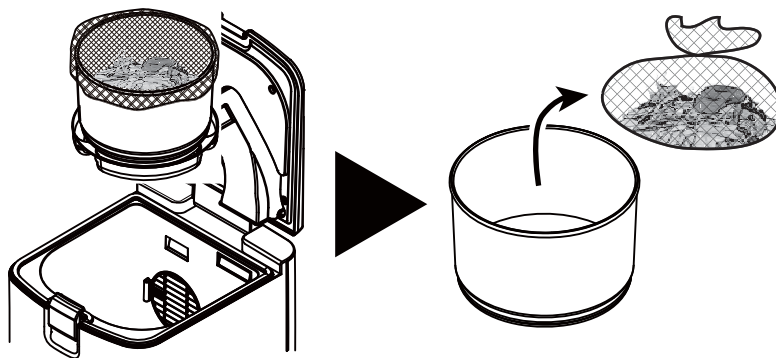
運転モード表示ランプ、PPランプが消灯すると運転終了になります。
運転終了後は POWER ランプのみ点灯し、待機状態となります。

⑧ 乾燥させたごみを取り出す

本体からバスケットと受け皿を取り出し、乾燥したごみを捨ててください。

⚠ やけどにご注意

処理中は、バスケットや処理室の中の物が熱くなっています。取り出しは必ず運転が終了してから行ってください。(終了時は運転モード表示ランプが消灯します。)



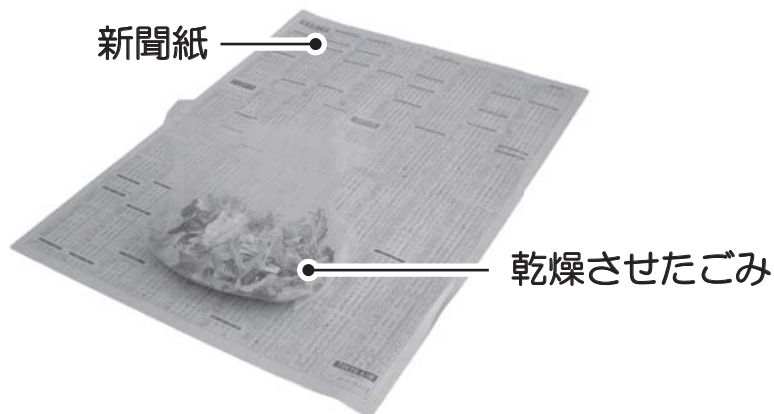
※本体からバスケットと受け皿を取り出す際は、処理室内の乾燥した処理物の臭いが出ます。
※油分・糖分が多い場合は、完全に処理できない場合があります。このような場合、完全に処理ができていなくても、処理物を捨ててください。

上手な捨て方

下記のような方法で、ごみの臭いを抑え、さらにコンパクトにすることができます。

① 乾燥させたごみを新聞紙に置く

2つ折りにした新聞紙の中央下部に乾燥させたごみを置きます。



⚠ けがにご注意

乾燥させたごみに貝殻や魚の骨など堅くとがったものがあると、押しつぶす際に飛び出してけがをする場合がありますので、十分ご注意ください。

② 乾燥させたごみを新聞紙で包む

1. 新聞紙を下図のように折り、乾燥させたごみを包みます。



2. 両側を折り込み袋状にします。



3. 新聞紙の下部から、中身を押しパリパリつぶしながら丸めていきます。



4. 丸め終わったら、そのままゴミ箱へ捨ててください。



お手入れ

お掃除方法、脱臭フィルターに関する説明です。

～お掃除について～

- 本体について
処理後は、水で濡らし軽くしぼった柔らかい布などで処理室内を軽く水拭きしてください。本体外面も同様に水拭きしてください。汚れがひどく、洗剤を使用する場合は、水で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に浸して軽くしぼってふき取ってください。
※処理室内に臭いがのこる場合があるので、掃除はこまめに行ってください。

ご注意

お掃除は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
また、直接水を入れたり、かけたりしないでください。感電・故障等の原因となります。

- バスケットと受け皿について
処理後に、柔らかい布やスポンジで軽く水洗いしてください。バスケット、受け皿はプラスチック製です。汚れがひどい時は、ぬるま湯、または水に浸し、洗剤を使用する場合は台所用中性洗剤を使用してください。

～脱臭フィルターについて～

- 脱臭フィルターの交換時期について
交換目安は約4ヶ月～6ヶ月に1回となります。交換時期が来ていなくても、臭いが気になり始めたら、お早めに交換してください。
※交換時期に関しましては、ご使用状況により前後する場合がございます。
- 脱臭フィルターのご購入について
交換用脱臭フィルターは、販売店よりご購入いただけます。
- 脱臭フィルターの廃棄方法について
脱臭フィルターに使用されている素材、廃棄方法を確認の上廃棄処分をしてください。脱臭フィルターを分解する場合は、中身の脱臭剤が飛散したり、粉じんが出たりしますので、屋外でマスクを付け、袋等で脱臭フィルターを覆い作業を行ってください。

名称	素材	廃棄方法
容器・ふた	ポリプロピレン	プラスチック
シール	紙	一般ごみ（燃えるごみ）
脱臭剤	活性炭	自治体の区分に従ってください。

故障かな？と思ったら

まず、下記項目をご確認ください。項目を確認後、なお異常がある場合は、販売店、または19ページにある「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

こんなときは	確認する点・対処方法
運転スイッチを押しても動かない	●電源プラグが抜けていませんか？ →電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。 ●ふたはきちんと閉まっていますか？ →ふたの隙間に異物が挟まっていないかを確認し、きちんとロックをかけてください。
電源スイッチを押さないのに運転が止まる	●ふたが開いていませんか？ →本製品は安全のため、ふたが開くと運転が一時中断されます。ふたを閉めると、自動的に残り時間の運転を再開します。
エラー音が鳴り運転できない	●吸気口カバーに異物が入っていませんか？ ●温風吹出口に異物が詰まっていますか？ →1度電源プラグをコンセントから抜き、吸気口カバー、温風吹出口を確認し、異物を取り除いた後で再度運転してください。
処理がうまくできない	●バスケットに生ごみを詰め込みすぎていませんか？ ●10ページにある「△乾燥効率が悪いもの」が多く入っていませんか？ →生ごみの種類や容量を減らしてください。 (10・11ページ、PARIS PARIS ガイド)へ。 ●脱臭フィルターのシールをはがし忘れていませんか？ →「脱臭フィルターの装着と交換」(6・7ページ)へ。 ●処理後、処理室内が結露していませんか？ →脱臭フィルターのシールをはがして使用してください。 改善されない場合は、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(19ページ)へ。
処理中に強いにおいが出る	●腐った生ごみを入れていませんか？ →腐ったものなど、生ごみの状態によっては臭いが出ることがあります。 ●脱臭フィルターの交換目安期間を過ぎていませんか？ →脱臭フィルターの交換目安期間は約4ヶ月～6ヶ月です。 この期間を過ぎている場合は脱臭フィルターの交換を行ってください。

アフターサービスと保証について

保証書について

1. 保証書は販売店にて「お買上げ日・販売店名」などを記入しております。記入、及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
2. 保証期間はお買上げ日より1年間です（ただし消耗品・付属品は除く）。保証書の記載内容により販売店、または当社が修理します。その他詳細は裏表紙の保証書をご覧ください。
3. なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後、5年間です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

補修用性能部品について

1. 修理の際に取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は引き取らせていただきます。
2. 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
3. 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは

2ページから17ページにしたがってご確認ください、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店にお問い合わせください。

■保証期間中について

保証書の規定にしたがって、販売店、または当社が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときについて

保証期間経過後の修理については、販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみについて

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

部品代：修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買上げ日	年 月 日
	お買上げ販売店名	電話（ ）

愛情点検

●長年ご使用の家庭用生ごみ処理機の点検を！



こんな症状はありませんか

- ボタンを押しても反応しない
- 異常な音や振動がある
- その他の異常や故障がある



ご使用中止

事故防止のため、すぐに電源プラグを抜き、販売店へ点検をご依頼ください。

仕様とお客様ご相談窓口について

仕様

型式	PPC-01			
処理方式	温風乾燥型			
電源	AC100V(50/60Hz)			
消費電力※1	120W			
電源コード	2m			
使用周囲温度	10℃～35℃			
処理時間	運転モード	S／パリパリSモード	M／パリパリMモード	L／パリパリLモード
	処理量※2	最大約500g(約1.3L)	最大約750g(約2.0L)	最大約1kg(約2.6L)
	処理時間	約6時間／約10時間	約9時間／約13時間	約12時間／約16時間
	パリパリPPモード	約18時間		
運転音		約36dB		
外形寸法		幅260mm×奥行310mm×高さ420mm		
本体質量		約5kg		
付属品（消耗品）		バスケット用水切りネット 15袋 脱臭フィルター（PPC-01-AC3#）2個（装着済と予備）		

※1. 社内試験時（ヒーター出力安定時における、室温20℃での消費電力）

※2. 標準試験生ごみにて

お客様ご相談窓口について

修理、バスケット・バスケット受け皿の追加購入、使用方法やお手入れ方法などのご相談は、販売店へお申し付けください。

島産業株式会社お客様ご相談窓口

電話 0120-256-333 FAX 0120-251-666

受付時間 月曜日～金曜日 10時～17時（祝日・弊社休業日を除きます。）

お客様ご相談窓口個人情報のお取り扱い

島産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し連絡させていただくための、ナンバーディスプレイを採用しており、確認のため、住所、氏名、電話番号をお聞きする場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には一切提供しません。

※FAXでのお問い合わせにおいて、上記以外の受付に関しては翌営業日以降のご返信とさせていただきます。ご返信につきましてはお時間がかかる場合がございます。

※お電話のかけ間違いにはご注意ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店（修理申出先）、または当社が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買上げの販売店（修理申出先）に依頼してください。なお、持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様の負担となります。
3. ご転居の場合には事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、取扱説明書記載のおお客様ご相談窓口へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) お買上げ後の取り付け場所の移動、落下等による故障及び損傷

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷

(ニ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷

(ホ) 本書の提示がない場合

(ヘ) 本書にお客様のお名前、ご住所、電話番号、お買上げ日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

(ト) 消耗部品の交換
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店、または取扱説明書の19ページにあるお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

家庭用生ゴミ処理機 PARIS PARIS CUBE（PPC-01）保証書

持込修理

品番	PPC-01	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号		
お買上げ日		販売店名・住所・電話番号	
年 月 日			
保証期間（お買上げ日より）			
本体 1 年			
		(消耗品・付属品は除く)	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のため、記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

島産業株式会社 〒768-0024 香川県観音寺市中田井町1番地 電話番号：0120-256-333